

# 農業用ドローンの活用による水稲経営の発展に向けて

～令和4年度香取地域水稲研修会を開催しました～

香取農業事務所改良普及課 令和4年8月2日発

水稲の病害虫防除においては、地域における共同防除による薬剤散布が主流です。しかし、これらは実施期間が定められており、大規模経営体では作期が分散されるため、散布適期が合わない品種もあります。水稲の収量・品質を維持していくためには、品種や病害虫の発生状況など圃場に応じた防除が求められます。こうした状況を踏まえ、農業事務所では大規模経営体を対象に7月25日、水稲経営におけるドローン活用に関する研修会を開催し、農家、関係機関、約30名が参加しました。(株)NTT e-Drone Technologyを講師にドローンの活用事例や、実際の空中散布を通じた現地検討を行ったところ、参加者からは、「導入を検討したい」、「ICTを積極的に取り入れていきたい」等の声がありました。

農業事務所では、今後も引き続きメーカーや関係機関と連携し、スマート農業技術の活用による農家の経営発展や若手農家の育成に向けて取り組んでいきます。



研修会の様子



ドローンによる空中散布